

進路だより

第4号



令和4年 2月24日

青森県立八戸高等学校 進路指導部

国公立大 学校推薦型・総合型選抜 合格者39名

今年度の学校推薦型・総合型選抜の結果がすべて判明しました。国公立大学合格者数は39名（合格率68.4%）と過去最高の結果になりました。そのほか、私立大22名、短大4名、専門学校18名が合格しています。

2月25日からは、いよいよ一般選抜がスタートします。本校からは、前期・中期・後期・独立日程に、延べ208名が出願しています。推薦型・総合型選抜でみせた、粘り強さを発揮してほしいと思います。



学校推薦型・総合型選抜合格者数一覧（国公立大学）

大 学	学 部	学 科	専 攻	人数
旭川医科大	医	看護		1
室蘭工業	理工	システム理化		1
北海道教育函館	教育	国際地域	地域協働/国際協働	1
弘前大	医	医		1
		保健	看護学	1
			放射線技術科学	1
	農学生命科	生物		1
	理工	数物科		1
		地球環境防災		2
電子情報工			1	
青森県立保健大	健康科	栄養		3
		看護		3
		社会福祉		2
青森公立大	経営経済	経済		1
		地域みらい		4
岩手大	理工	システム創成工	機械科学	1
	教育	小学校教育		1
岩手県立大	看護	看護		1
	社会福祉	人間福祉		1
宮城教育大	教育	芸術・体育系教育		3
宮城大	看護	看護		1
山形大	地域教育文化	地域教育文化	文化創生	1
筑波大	人文文化	人文		1
群馬大	情報	情報		1
新潟大	医	保健	放射線技術科学	1
	法	法		1
静岡文化芸術大	文化政策	芸術文化		1
芸術文化観光専門職大	芸術文化観光	芸術文化観光		1
			合 計	39

合格体験記

◇「沢山の人に助けられて掴んだ合格」 青森県立保健大学 健康科学部 看護学科

私が推薦受験を決断したのは、部活動を引退してからでした。推薦入試は自分の魅力や適性をアピールする機会が多く、自分に向いていると考えたからです。志望理由書の作成は、夏休みから出願開始直前までかかりました。面接練習は10月中旬から毎日昼休み20分間、登下校中も毎日練習を欠かさず、加えて11月からは放課後1~2時間ほど練習していました。小論文は2週間で6~8年分の過去問を解きました。

志望理由書を作成する前、夏休みに複数の病院の看護師や在宅医にインタビューやアンケート調査を行いました。医療従事者の実際の声を聞くことで昔との変化や医療現場の実態を知ることができます。そして、スキルアッププログラムや新聞・論文ノートに取り組み、医療についての知識と地域への理解を増やしました。

夏から秋は特に一般受験の学習の時間を作るのが難しくなるため、私は効率を上げることと、スキマ時間の活用を徹底しました。毎日の授業や講習では授業内で理解して覚えるように意識し、授業の合間の休憩時間や電車に乗っている時間などのスキマ時間は復習や暗記をしていました。始発の電車に乗って生み出した40分間を学習に当てるなどの工夫もしていました。

面接の大敵は緊張だと思います。そこで先生から、試合前にアップするのと同じように、面接が始まる前にトイレでスクワットをすると良いとのアドバイスを頂き、実践したことで、常にリラックスした状態を保つことが出来ました。そして、面接は内容を覚えて思い出すのではなく、自然と内側から出てくるようになるまでひたすら練習したことで笑顔の余裕も生まれ、面接官に考えや熱意をまっすぐ伝えることが出来ました。

私は、身の周りにいる沢山の人に協力して頂き、試験当日は最大限の力を発揮することが出来ました。スタートが遅れるとその分、精神的・身体的に辛いけれど、絶対合格するという気持ちと精神力で乗り越えられました。担当して頂いた先生から、人生経験は大きな財産であることを学びました。私は高校生活だけでなく今までの人生経験を総動員して、この推薦入試で合格することが出来ました。みなさんには、身の周りの人を沢山頼り、自分の過去の経験も活用しながら、日々努力を惜しまず目標を達成してもらいたいです。

◇「伝えたいこと」 北海道教育大学函館校 国際地域学科 地域協働専攻国際協働グループ

私はもともと誰かを助けるようなそんな仕事に就きたいと考えていました。高校に入学してからは、異文化理解に興味を持つようになりましたが、具体的に何になりたいのかわからないままでした。3年生の春に先生から北海道教育大学の推薦型を薦められて、やってみようとは最初は軽い気持ちで始めました。しかし、推薦型で受ける人たちはみんな1・2年生でさまざまな校外活動やボランティアに参加していました。私は部活動が忙しく、ほとんどそのような活動に参加しませんでした。周囲との遅れを自覚しましたが、今からでも頑張れば間に合うだろうと、異文化理解や、技能実習生についての新聞や論文を集めました。そして夏季休業には「日本の次世代リーダー養成塾」に参加し、アジアの学生と交流したことでより深い知識と広い視野を持って物事を考えられるようになりました。この活動に参加していた時に、毎日振り返りを行っていました。人間はすぐに忘れてしまう動物なので、感じたこと学んだことはその瞬間に書き出すことが必要だと思います。振り返りは、志望理由書や面接の大事な材料になるので大切に保管しましょう。

北海道教育大学の学校推薦型は自己推薦書と面接でした。自己推薦書は完成するまでに1ヶ月半かかりました。たくさんの先生方から様々な意見をもらうので大変でしたが、貴重な意見や知識を手に入れることができました。面接では、担当の先生から熱く語れと毎日言われ、少し前のめりになりながら目を見て話すように意識しました。そうすることで自信を持って本番に臨むことができました。また、不合格を想定して一般受験との両立もしなければなりません。正直、辛かったです。私は2年生の冬から模試の振り返りノートを作って復習していたのですが、推薦の準備と重なると怠ってしまいました。それでも1日3時間は必ず勉強すると決めて継続しました。

最後に、私が最後まで諦めずに合格できたのは使命感があったからだと思っています。どうしても、この問題を解決したいという強い思いが私をここまで連れてきてくれました。推薦型や総合型を受けたいと思ってる人は、自分の夢を胸張って言えるような人になって欲しいです。また、この受験にはさまざまな人が関わってくれます。感謝を忘れず、後悔しないように頑張ってください。

